

(別紙様式)

中山間ふるさと・水と土保全対策事業 中山間ふるさと・水と土保全推進事業

事業実施計画

計画期間：令和2年度～令和6年度

(令和3年度)

計画内容

1. 事業実施の基本方針
2. 事業計画
3. 事業実施の成果目標と実績
4. 事業評価と対応

北海道

1. 事業実施の基本方針

目標年度	令和6年度
現状と課題	<p>本道の農村は、農家戸数の減少や高齢化の進行などが続いており、コミュニティ機能が脆弱化し、地域の活力の低下が顕在化している。</p> <p>特に、中山間地域においては、農地の立地条件が悪く、生活環境等の定住条件にも恵まれないため、過疎化・高齢化が進み、担い手への農地集積が進まず遊休農地が増加するなど、農業生産活動の停滞はもとより、地域のコミュニティ機能や農業・農村の多面的機能の発揮に支障を来している状況にある。</p> <p>このため道では、農地や土地改良施設、自然環境、景観など地域の多様な資源を活かして、生態系の保全整備や都市との交流、地域の特色ある料理の開発など様々な活動を促進してきたが、地域住民が主体性を持ち持続的に活動に取り組む地域の確立に向けて気運の醸成とモデル的な活動事例の創出が必要である。</p>
事業実施の基本方針	<p>本事業では、農地や土地改良施設、自然環境、景観、伝統文化などの多様な資源を発掘し、これら資源を地域住民が主体性を持って活かした多様な活動をモデル的に実施することでその効果を検証する。</p> <p>具体的な方法としては、地域の現状把握や住民意識の醸成、明確な目標を設定した3年程度の活動計画の策定、計画に基づいた実践活動、活動の評価・検証などの地域住民による主体的な取組を支援することにより、住民の自立意識を醸成し、継続性を持った効果的な住民活動が実施されるよう促す。</p> <p>また、こうした住民活動を全道に広げるとともに、地域の様々な資源を活用した多様な住民活動を実践・指導する人材として、ふるさと・水と土指導員を委嘱し、現地見学や研修会等の意見交換の場を通して、住民活動の手法や活動意欲をこれまで以上に高め、今後の地域づくりを担う人材として、その育成に努める。</p> <p>全道各地で住民活動の活性化を図る観点から、HPや情報誌の発行などを通して、本事業における取り組みとその成果を全道に普及する。</p>
事業実施計画	<p>全道各地で地域の多様な資源を活かし住民活動が発展・継続することにより、中山間地域におけるコミュニティ機能を維持し、地域再生や地域活性化を図る。ひいては、農業・農村の有する多面的機能を良好に発揮することを目指す。</p>

2. 事業計画

事業（取組）名	事業（取組）内容	達成すべき目標との関連	事業実施要綱上の該当項目	5ヶ年間の事業（量）内容					総事業費
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
地域活動支援事業	道内における地域住民活動の活性化を図るため、他の地区のモデルとなるような多様な地域資源を活かした住民活動を支援する地域活動支援地区をモデル的に支援することでその効果を検証する。	①	ふる水第3-2-(1) 棚田第3-2-(1) 第2-2-1 第3-2-(2)	地域の現状を把握し、住民の地域づくりへの意欲を醸成するため、住民の意識調査やアドバイザーを招いた勉強会などの開催、その後の地域住民活動の目標と具体的な活動内容等を定めた3年程度の活動計画の策定、計画に基づく実践活動、活動のステップアップを図るための評価・検証など地域住民が主体となった取組の支援を5ヶ年で10地区程度実施する。					
人材育成	活動の実践と地域住民活動の活性化に向けた指導・助言等を行う人材として、北海道ふるさと・水と土指導員を育成する。	②	ふる水第3-2-(1) 第2-2-1 第3-2-(2)	多様な地域住民活動を実践・指導する人材として北海道ふるさと・水と土指導員を委嘱し、指導員相互の情報交換と地域づくりの手法等習得のための研修会や現地研修会を5ヶ年で20回程度開催する。 また、地域住民活動の活性化を図る地域をさらに広げるため、5ヶ年で10人程度新たに指導員を委嘱する。					
推進事業	事業の円滑な執行と効果的な推進、地域住民活動の拡大を図る取組を行う。	③	ふる水第3-2-(3) 棚田第3-2-(1) 第3-2-	事業の進捗状況に応じた効果的な助言を得て、事業の推進を図っていくため、5ヶ年で10回程度委員会を開催する。 また、事業の成果や農業・農村が持つ多面的機能の役割が広く道民に理解され、住民意識の向上や道内各地における住民活動が活発化するよう、市町村や各種活動団体に対し、5ヶ年で10回程度、独自の情報誌を発行するほか、適宜事業の制度説明や活動事例の提供を行う。					
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
中山間ふるさと・水と土 保全対策事業費 (ふる水と土基金)			計画事業費	13,630	13,618				
			(実績額)	3,647					
中山間ふるさと・水と土 保全推進事業費 (棚田基金)			計画事業費	780	782				
			(実績額)	780					

3. 事業実施の成果目標と実績

達成すべき目標	指標	基準値	目標値	年度ごとの実績					達成度	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
①	地域活動支援事業	多様な地域資源を活かした住民活動を支援する地域活動支援地区数	10地区	2地区						
②	人材育成	指導員等の資質向上のための研修会等の開催数	20回	2回						
		指導員の委嘱人数	10人	4人						
③	推進事業	事業の推進に係る効果的な助言を得るための委員会の開催数	10回	2回						
		情報誌の発行回数	10回	2回						

4. 事業評価と対応

達成すべき目標	事業実績の評価		備考	
	外部有識者の所見	所見を踏まえた改善方針		
①	地域活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により計画どおりに活動できていない継続地区においても状況の把握に努め、活動内容の変更や支援期間の延長など適宜対応すること。 委員会による活動地区での意見交換が実施できなかったが、現地に行けない場合もオンラインでの実施などを検討すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援地区において新型コロナウイルス感染症の影響により計画どおりに活動が進まない場合など、計画の進捗を適宜把握し、当該年度計画の活動内容の見直しや活動期間延長など柔軟に対応する。 ふる水委員による支援地区との意見交換（アドバイス）について、状況に応じオンラインも含め、適宜開催できるよう努める。 	
②	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、バス移動等を伴う現地研修は中止となった。一方、指導員会及び地域づくり研修会は、会場においては感染症対策を徹底した上、オンラインも併用し、遠隔地に在住する指導員も参加できるよう開催されていた。今後は平時においてもオンライン開催を適宜検討し、研修機会の提供に努めること。 指導員の委嘱は今後も幅広い人材発掘に努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会等は必要に応じオンラインも併用し、研修機会を確保するよう努める。 指導員委嘱については関係機関とも連携の上、現地研修会時に直接説明するなど、積極的に人材の発掘に努める。 	
③	推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり実施されている。今後も事業のPRIに努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果や農業・農村が持つ多面的機能の役割が広く道民に理解され、住民意識の向上や道内各地における住民活動が活発化するよう、情報誌発行のほか、事業の制度説明や活動事例の提供を随時行う。 	